

災害派遣精神医療チーム

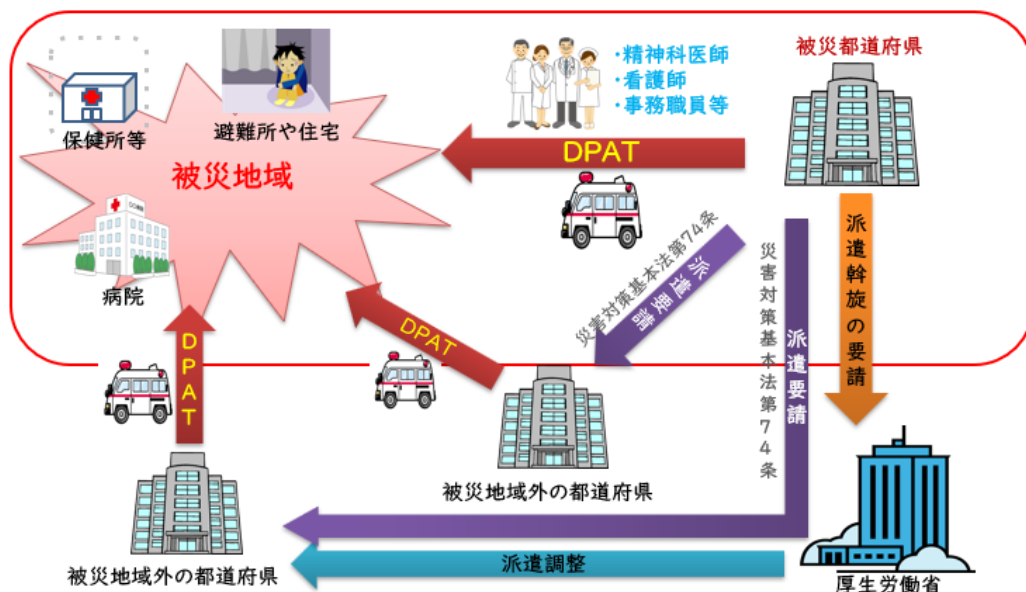
(DPAT : Disaster Psychiatric Assistance Team)

- DPATとは、大地震等の災害時に、地域において必要な精神保健医療ニーズに対応することを目的とした厚生労働省が認めた専門的な研修・訓練を受けた精神医療チーム。
- DPATは平成25年4月から養成を開始し、DPAT 1 隊は、精神科医師、看護師、業務調整員を含めた数名で構成されており、都道府県の派遣要請に基づき活動する。
- 特に、発災から概ね48時間以内に、被災した都道府県において、本部機能の立ち上げや急性期の精神科医療ニーズへの対応等を行う隊を「日本DPAT」として位置付けている。



【日本DPATの派遣の流れ】

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後、被災地域に入り精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチーム。



DPATの構造

